

日本史(5) 古墳時代① 「出現期～前期・中期の古墳」

○今回のポイント

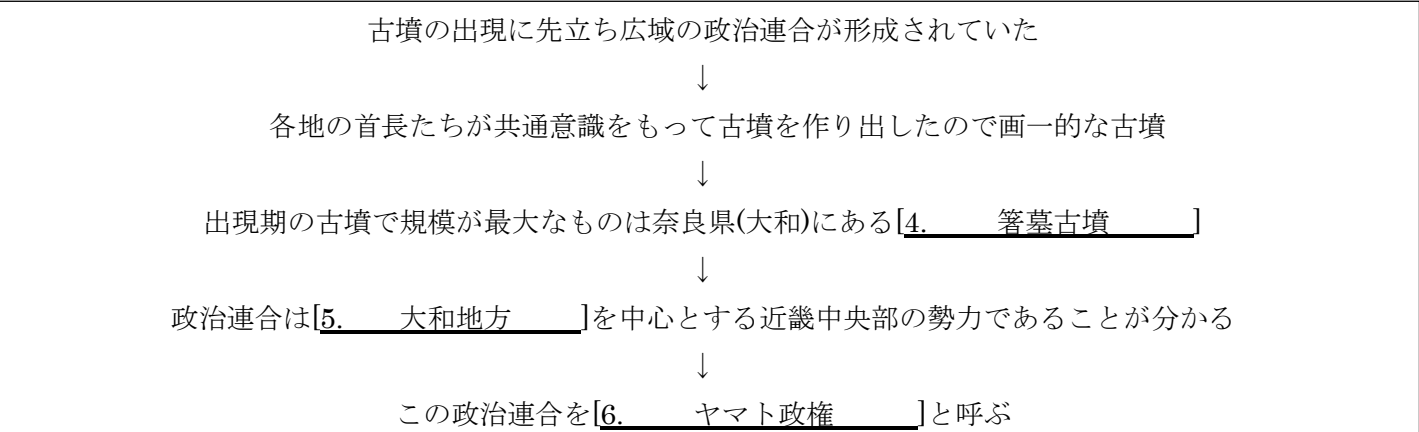
中国の歴史書から姿を消した日本は「謎の4世紀」と呼ばれている。
だがヤマト政権の支配が拡大は、前方後円墳の広がりから推察することができる。

古墳の出現とヤマト政権

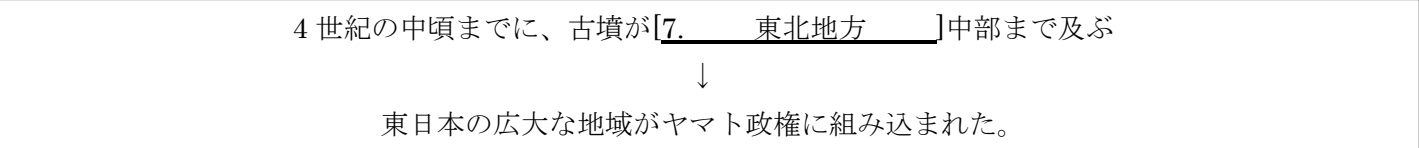
(1)出現期の古墳 3世紀中頃～後半になると出現

- ①種類…[1. 前方後円墳]または前方後方墳。
- ②画一的な特徴
 - ・長い木棺を[2. 竪穴式石室]におさめた埋葬施設
 - ・多数の銅鏡をはじめとする呪術的な[3. 副葬品]

(2)ヤマト政権 ～古墳が画一的な特徴を持つことからは何が分かるの?～



(3)ヤマト政権の支配領域



前期・中期の古墳

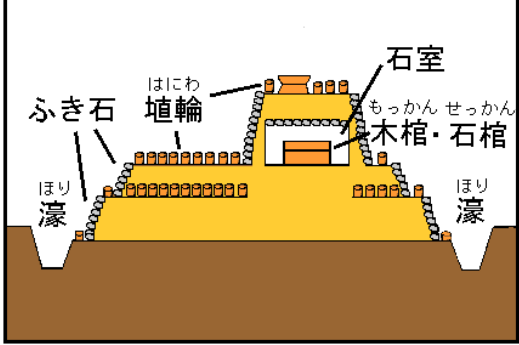
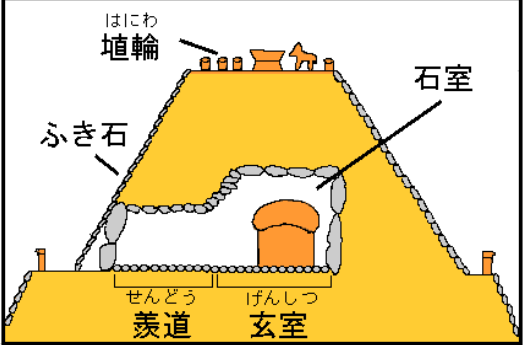
(1)古墳の種類

- ・前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳など。
- ・数が多いのは円墳や方墳。
- ・大規模なものは前方後円墳 (→[8. 各地の有力な首長たち])の墓)

(2)埴輪

9. 円筒埴輪	10. 家形埴輪	[11. 器財埴輪]		
		12. 盾形埴輪	13. 鞞形埴輪	14. 蓋形埴輪
				
器台のみを表わす	死者の靈魂が宿る	盾	弓やを入れる器	貴人にかける傘

(3) 埋葬施設

前期・中期	後期
<ul style="list-style-type: none"> ・木棺、石棺を[15. 竪穴式石室]におさめたもの ・棺を粘土でおおった粘土槨など竪穴形態のもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・[16. 横穴式石室]が多くなる ※[17. 追葬]が可能なのが特徴!
	

(4) 副葬品

- ・前期…呪術的、宗教的な色彩が強い→古墳の被葬者である各地の首長は[18. 司祭者的]性格!!
- ↳ [19. 三角縁神獣鏡]、銅鏡、腕輪型石製品、鉄製の武器や農耕具など
- ・中期…鉄製武器、武具の占める割合が多くなり馬具なども加わる →被葬者は[20. 武人的性格]!

(5) 規模の大きい古墳

- ①大阪府[21. 大仙陵古墳] (仁徳天皇陵古墳)…墳丘の長さ 486m。
↳ 2～3重の周濠。陪塚(従属的な小型の古墳)を含めると 80ha に及ぶ。
- ②大阪府[22. 誉田御廟山古墳] (応神天皇陵古墳)…第二位の規模。

5 世紀のヤマト政権の [23. 大王] の墓と考えられている。

(6) 古墳時代の主な勢力



- ①毛野
 - ・群馬県太田[24. 天神山古墳]
 - ↳ 東日本最大の前方後円墳。毛野政権の首長の墓だと推定されている。
- ②吉備
 - ・岡山県[25. 造山古墳]
 - ↳ 墳丘の長さが 360m もあり、日本列島の古墳の中で、第 4 位の規模を持つ。

☆地方における前方後円墳の分布から分かること。

地方の豪族も前方後円墳の形式の古墳を造営していた!



ヤマト政権と呼ばれる政治的な連合体において、地域の豪族が重要な地位を占めていたことが分かる。